

(1) 歴史環境

② 史跡の指定、保存・管理、整備及び活用

～鎌倉の貴重な歴史的遺産を守ります～

推計事業費（3ヵ年合計）：780百万円

◆目標とすべきまちの姿

歴史的・学術的に重要な遺産については、順次、史跡指定などの手続きが進められ、保存管理計画のもと、適正な管理により保護されています。

また、整備された史跡については、公開・活用が図られています。

◆主な取組

1. 史跡の公有地化

国指定史跡である永福寺跡、鶴岡八幡宮境内（御谷地区）、北条氏常盤亭跡及び東勝寺跡等の保全を図るため、必要に応じて公有地化を進めます。

2. 新たな史跡の指定

歴史的・学術的に重要な遺産について、新たに国指定史跡等の指定に向けた検討、準備を進めます。

3. 史跡の管理、整備及び活用

国指定史跡の適切な保存管理を図るため、保存管理計画の策定を進めます。国指定史跡の整備・活用に向けて検討を進めるとともに、維持管理に努めます。

4. 史跡永福寺跡の環境整備

史跡永福寺跡については環境整備事業を進め、将来、史跡（歴史）公園として整備・活用を図ります。

◆この施策の方針内で実施する事業（実施事業）

事業名	所管課	事業内容
事業 CD:2-1-2-3 史跡買収事業	文化財課	史跡の保護・保存に向け、緊急性や土地所有者の意向等を踏まえながら、史跡の公有地化を進めます。
事業 CD:2-1-2-4 史跡環境整備事業	文化財課	国指定史跡等の整備を順次進めていきます。史跡永福寺跡については、公開に伴う管理を行います。史跡大町釈迦堂口遺跡については、崩落の恐れがある箇所の実況調査に基づく工事設計及び工事を実施したうえで、公開活用の方向性を検討します。また、史跡和賀江嶋及び史跡仮粧坂の環境整備を行います。

◆重点事業

事業CD	2-1-2-3	事業名	史跡買収事業		
所管課	文化財課				
事業目標	史跡の公有地化を進めることで、開発等の土地利用から、恒久的に保存を図ります。				
事業内容	史跡の保護・保存に向け、緊急性や土地所有者の意向等を踏まえながら、史跡の公有地化を進めます。				
事業工程	平成29年度	平成30年度	平成31年度	推計事業費	
	史跡の公有地化・用地取得(鶴岡八幡宮境内、名越切通、朝夷奈切通)	史跡の公有地化・用地取得(仮粧坂、北条氏常盤亭跡)	史跡の公有地化・用地取得(鶴岡八幡宮境内、朝夷奈切通)	413.0百万円	

事業CD	2-1-2-4	事業名	史跡環境整備事業		
所管課	文化財課				
事業目標	国指定史跡等の公開・活用のための整備を進め、史跡指定地の良好な維持管理を継続します。				
事業内容	国指定史跡等の整備を順次進めていきます。史跡永福寺跡については、公開に伴う管理を行います。史跡大町釈迦堂口遺跡については、崩落の恐れがある箇所の実況調査に基づく工事設計及び工事を実施したうえで、公開活用の方向性を検討します。また、史跡和賀江嶋及び史跡仮粧坂の環境整備を行います。				
事業工程	平成29年度	平成30年度	平成31年度	推計事業費	
	史跡永福寺跡管理業務 史跡大町釈迦堂口遺跡 崩落対策工事基本設計 史跡維持管理	史跡永福寺跡管理業務 史跡大町釈迦堂口遺跡 崩落対策工事詳細設計 史跡和賀江嶋環境整備 史跡維持管理	史跡永福寺跡管理業務 史跡大町釈迦堂口遺跡 崩落対策工事 史跡仮粧坂環境整備 史跡維持管理	366.6百万円	